

# 謹賀新年

江別市長  
後藤 好人

Goto  
Yoshihito



「旧町村農場」オープンセレモニー

新年あけましておめでとう  
ございます。  
市民の皆さまには、ご家族  
とともに健やかに新年をお迎  
えのことと心からお喜び申し  
上げます。また、市政各般に  
深いご理解と温かいご支援  
ご協力を賜り厚くお礼申し上  
げます。  
振り返りますと、昨年は市  
制施行70周年を迎え、市民の  
皆さまとともに、スポーツや  
文化などさまざまな周年イベ  
ントの開催を通じ、節目の年  
を祝うことができました。  
また、6月には北海道の略  
農史を示す歴史的建造物であ  
る「旧町村農場」が、カフェ  
やキッズスペースを併設した  
子どもから大人まで誰もが親  
しみやすい施設としてリニユ



市長を表敬訪問した両選手（左：松本選手、右：山本選手）



ールオープンし、市内に限  
らず、市外からも多くの方  
にお越しいただいているところ  
です。  
スポーツ関連では、7月に  
開催されたパリオリンピック  
で、江別市出身の男子バレー  
ボール 山本智大選手やバド  
ミントン女子ダブルス 松本  
麻佑選手が活躍し、次代を担  
う子どもたちに大きな夢と希  
望を与えていただきました。

9月には「水泳の日  
2024」が開催され、オリ  
ンピックや世界水泳で活躍し  
た水泳界のトップアスリート  
と市民との交流が図られ、大  
いに盛り上がりました。  
今年は、昨年4月にスター  
トしたえべつ未来づくりビ  
ジョン（第7次江別市総合計  
画）の2年目として、市民の  
皆さまとの協働のもと、人口  
減少対策をはじめとする重要  
な課題に挑戦しながら、引き  
続き将来を創る産業の活性化  
やこのまちにずっと住み続け  
たいと思っただけけるよう  
な住みよいまちづくりに努め  
てまいります。  
まちの魅力向上としまして  
は、江別市・JR北海道・コー  
プさっぽろの3者で昨年2月  
に締結した「魅力あるまちづ  
くりに関する連携協定」によ  
り、野幌若葉町市有地および  
野幌松並町の鉄道跡地の造  
成が進む予定であり、子育て  
世代などにも選ばれるエリアと  
して、市全体に効果が広く波  
及するよう進めてまいりま  
す。

子育て環境につきまして  
は、昨年11月に「江別市子ど  
もが主役のまち宣言」を行っ  
たことから、まち全体で子ど

市立病院では、2年目とな  
る「江別市立病院経営強化プ  
ラン」に基づき、地域医療提  
供体制を確保しつつ、より一  
層の経営強化を図ります。  
今後におきましては、子育  
て支援、教育環境の充実やゼ  
ロカーボンシティ、デジタル  
化に向けて取り組んでまいり  
ますので、引き続きご理解と  
ご協力を賜りますようお願い  
申し上げます。

もを守り育てるという意識や  
雰囲気づくりをより一層醸成  
するとともに、地域一体と  
なって実践できる取り組みを  
進めてまいります。



江別市 × 北海道旅客鉄道株式会社 × 生活協同組合コープさっぽろ  
魅力あるまちづくりに関する連携協定締結式

3者協定締結式

# 新年のごあいさつ

江別市議会議長  
島田 泰美

Shimada  
Yasumi



新年あけましておめでとう  
ございます。

市民の皆さまには日頃より  
市議会の活動に対し深いご理解  
とご協力を賜り厚くお礼を  
申し上げます。

昨年、江別市は市制施行70  
周年の節目を迎え、今後10年  
間の市が目指すまちの姿と、  
それを実現するためのまちづ  
くりの方向性を示した、えべ  
つ未来づくりビジョン（第7  
次江別市総合計画）がスター  
トしました。

計画の策定に当たっては、  
議会において特別委員会を設  
置し、この計画の構想部分の  
審査を行いました。

江別市では、これから本格  
的な少子高齢化や人口減少が  
進むと考えられます。そのよ  
うな中においても、市民の皆  
さまにとって住みやすく、安  
心して暮らせる魅力的なまち  
であり続けられるよう、計画  
に掲げる将来都市像「幸せが  
未来へつづくまち えべつ」  
の実現のため、議会として、  
しっかりと各事業の進捗状況  
などを注視してまいります。

昨年、市内では「旧町村農  
場」のリニューアルオープン  
や、商業施設「EBRI」の  
グッドデザイン賞受賞など、

観光の面で明るい話題が続き  
ました。

一方で、近年市民生活に影  
響を及ぼし続けている物価高  
騰対策や、多くの自治体が直  
面している厳しい財政状況へ  
の対応、そして数十年に一度  
と言われる規模の豪雨や巨大  
地震などの頻発による防災・  
減災対策など、容易に解決す  
ることが困難な課題が山積し  
ている状況にあることは、江  
別市も例外ではありません。  
そのような中、議会が果た  
すべき役割はますます重要と  
なっており、市民の皆さまの  
意向を的確に把握し、さらな  
る住民福祉の向上を念頭に、  
市政に対するチェック機能を  
発揮することはもとより、議  
会としての政策提言も求めら  
れてきております。

昨年、議会では、議会の在  
り方や議会基本条例の理念を  
具現化するための検討を行う  
ことを目的として、議会改革  
検討小委員会を設置いたしま  
した。委員会の中で、議会と  
しての政策形成サイクルの構  
築について協議しているほ  
か、一般質問を議会からの政  
策提案につなげる手法や市民  
意見反映の手法についてな  
ど、個別具体的な検討を進め

ております。

また、11月には市民と議会  
の集いを開催し、幅広い世代  
の皆さまと、江別市の子育て  
環境に関することや市政全般  
についてさまざまな意見を交  
換することができ、実りある  
時間となりました。



市民と議会の集い 集合写真

このほか、第2期江別市議  
会ICT化推進基本計画に基  
づき、3月から試行的に導入  
していたタブレット端末を、  
9月開会の定例会から本格運  
用に移行したところであり、  
さらなる議会運営の効率化お  
よび会議資料のペーパーレス  
化を進めております。

今年、議会は4年任期の折  
り返しとなります。女性議員  
の割合が高い特色も生かしな  
がら、多様で多角的な視点か  
らの活発な議論を展開してい  
くとともに、これからも、よ  
り市民に開かれた江別市議会  
を目指して、さまざまな取り  
組みを進めてまいります。

結びに、新しい年が市民の  
皆さまにとって、希望に満ち  
た幸多き年となりますことを  
祈念申し上げます。

